介護報酬改定・ＬＩＦＥの理解は

芦別慈恵園の未来（あした）をつくる

特別養護老人ホーム芦別慈恵園
まちづくり事業部　まちづくり経営係　管理課長　鈴木　章夫

「介護報酬改定」とは…ナニ！？

介護報酬改定

◆**３年ごと**に見直しされる

介護報酬とは

◆介護事業者が提供した**介護サービスの対価として**、市区町村から**受け取る報酬**のこと

※７～９割が市区町村から介護給付費として支払われ、**１～３割は**介護サービスを**利用したお客様**から受け取る

「介護報酬改定」なぜ行われるの！？

目的

◆介護需要の変化や経済状況・政府の政策の変更などを踏まえ適切な介護サービスの質を確保すること

◆改定に伴って人材不足が課題となっている介護労働者の**待遇改善**なども行われており介護事業従事者の就労環境を整備

介護サービスの適切な提供
介護サービス利用者のＱＯＬ向上

「介護報酬改定」から見えること

①国の方針（考え方）

◆国が重点的に行う介護対策が明文化される
例）地域包括ケアシステムの推進⇒「医療との連携」

②介護事業所に今後求められること

◆国から「このような介護を提供してほしい」というメッセージを受けサービスを提供

国の方向性に沿ったサービスを
考え実施していく事が必要

令和６年度 介護報酬改定率

内訳

①本体0.61%（**令和３年改定時0.7%**）

②処遇改善0.98%（6月施行）⇒ 事業所には残らない

①+②=　+1.59%

食材費の高騰分は反映されず（怒）

③光熱費上昇分0.45%（8月～）

①+②+③=　+2.04%

ＬＩＦＥ（科学的介護情報システム）

ＬＩＦＥ「Long-term care Information system For Evidence」

◆全国の介護事業所から、利用者さんの介護データを収集・分析し、フィードバックを実施するシステム

◆2021年度から運用開始（３年前の改定の目玉）

⇒すでに導入されていた「VISIT（通所・訪問リハビリテーションデータ収集システム）」と「CHASE（高齢者の状態やケアの内容等データ収集システム）」が統合

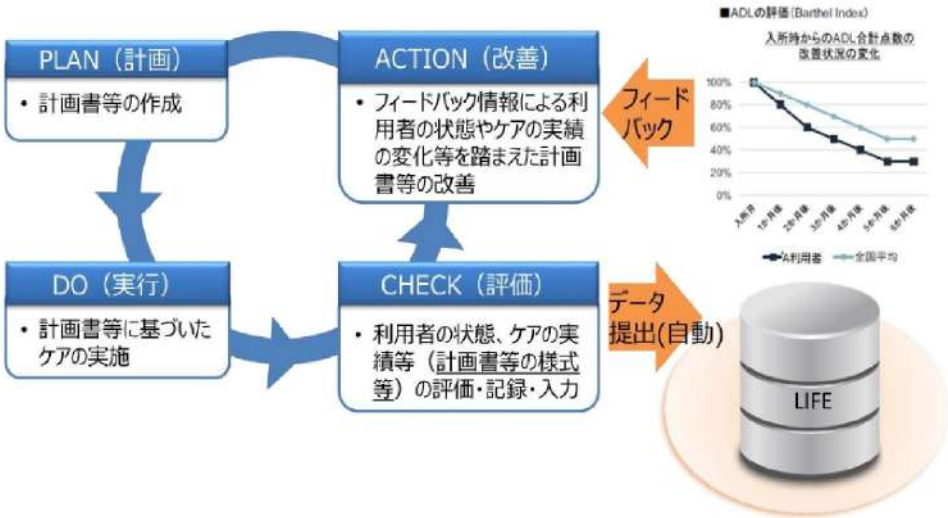
ＬＩＦＥ=エビデンス

高い質のケアが受けられるようになる

◆「科学的介護」とは**エビデンス（科学的裏付け）に基づく介護**のことで、誰もがエビデンスに基づいた質の高い介護を受けられるようになる

◆施設や介護職員によるケアのばらつきが少なくなり、全国どこでも誰もが適切なケアを受けることができる

◆ご利用者様がご自身に合った介護施設や事業所を選ぶ際のひとつの目安にもなり得る



ＬＩＦＥが示すこと

ＬＩＦＥに取り組めない

根拠のないケアを提供している

芦別慈恵園のエビデンス　自立支援７つの柱

ＬＩＦＥ導入から見えたこと

◆**ＬＩＦＥの活用等が要件**に含まれる**加算**が設けられた

国はとにかく推進しエビデンスを集めたい

ＬＩＦＥを徹底して進める
国の意思表示

加算

介護保険サービスの料金について

◆基本的な費用に加え、サービスの内容や、サービスを行なう事業者の体制などによって、費用の上乗せを行なっている
その**費用の上乗せ部分**を「加算」と言う

加算が多いと

◆事業所は**収入が増える**

◆利用するお客様は、**質の良いサービス**が受けられる

ＬＩＦＥ活用で算定できる主な加算

1単位
10円

	科学的介護推進体制加算（Ⅰ）・（Ⅱ）	個別機能訓練加算（Ⅱ）	ADL維持等加算（Ⅰ）・（Ⅱ）	リハビリテーションマネジメント計画書情報加算	理学療法、作業療法、言語聴覚療法に係る加算	褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）・（Ⅱ）	褥瘡対策指導管理（Ⅱ）	排せつ支援加算（Ⅰ）・（Ⅱ）・（Ⅲ）	自立支援促進加算	かかりつけ医連携薬剤調整加算（Ⅱ）・（Ⅲ）	薬剤管理指導	栄養マネジメント強化加算	口腔衛生管理加算（Ⅱ）
	50/月		30/月			3/月		10/月				300/月 11/日	110/月
従来型	●	●	●			●		●	●			●	●
ユニット型													
かざぐるま	●	●	●			●		●	●			●	●

	科学的介護推進体制加算	個別機能訓練加算（Ⅱ）	ADL維持等加算（Ⅰ）・（Ⅱ）	リハビリテーションマネジメント加算(A)ロ・(B)ロ	褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）・（Ⅲ）	排せつ支援加算（Ⅰ）・（Ⅱ）・（Ⅲ）	栄養アセスメント加算	口腔機能向上加算（Ⅱ）
	40/月		60/月				50/月	
通所介護	●	●	●				●	●
デイサービス	●	●	●				●	●
もみじの家	●	●	●（予防を除く）				●	●

ＬＩＦＥ活用で算定できる主な加算

	科学的介護推進体制加算（Ⅰ）・（Ⅱ）	個別機能訓練加算（Ⅱ）	ADL維持等加算（Ⅰ）・（Ⅱ）	リハビリテーションマネジメント計画書情報加算	理学療法、作業療法、言語聴覚療法に係る加算	褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）・（Ⅱ）	褥瘡対策指導管理（Ⅱ）	排せつ支援加算（Ⅰ）・（Ⅱ）・（Ⅲ）	自立支援促進加算	かかりつけ医連携薬剤調整加算（Ⅱ）・（Ⅲ）	薬剤管理指導	栄養マネジメント強化加算	口腔衛生管理加算（Ⅱ）
	50/月		30/月			3/月		10/月				11/日	110/月

例）ユニット型で算定すると…

一人ひと月あたり最大544単位=5,440円

5,440円×39人（定員）=212,160円/月

212,160円×12ヵ月=**2,545,920円/年**

ＬＩＦＥ活用で算定できる主な加算

	科学的介護推進体制加算（Ⅰ）・（Ⅱ）	個別機能訓練加算（Ⅱ）	ADL維持等加算（Ⅰ）・（Ⅱ）	リハビリテーションマネジメント計画書情報加算	理学療法、作業療法、言語聴覚療法に係る加算	褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）・（Ⅱ）	褥瘡対策指導管理（Ⅱ）	排せつ支援加算（Ⅰ）・（Ⅱ）・（Ⅲ）	自立支援促進加算	かかりつけ医連携薬剤調整加算（Ⅱ）・（Ⅲ）	薬剤管理指導	栄養マネジメント強化加算	口腔衛生管理加算（Ⅱ）
	50/月		30/月			3/月		10/月				11/日	110/月

導入３年＝７５０万円

未導入＝０円

芦別慈恵園ユニット型の基本報酬

		現行	改定後	1単位 10円
ユニット型介護福祉施設サービス費（ユニット型個室）	要介護1	652単位	670単位	+18単位
	要介護2	720単位	740単位	+20単位
	要介護3	793単位	815単位	+22単位
	要介護4	862単位	886単位	+24単位
	要介護5	929単位	955単位	+26単位

芦別慈恵園ユニット型の基本報酬

ユニット型の定員
39名×365日×稼働率95%=13,523人/年

要介護３で試算
1日8,150円（815単位）× 13,523人=**1億1021万2450円**

①約1億1000万

芦別慈恵園ユニット型の加算報酬

令和6年2月算定実績
ひと月当たりの加算収入額…890,000円
890,000円×12ヵ月=**１０６８万円**

②約1,000万

算定している加算（合計：８９，０００単位/月）

個別機能訓練加算Ⅰ	サービス提供体制加算Ⅰ	ADL維持加算Ⅰ	口腔衛生加算Ⅱ	療養食加算	経口維持加算Ⅰ・Ⅱ	栄養マネジメント強化加算	科学的介護加算Ⅱ

芦別慈恵園ユニット型の処遇改善加算

令和5年度実績見込み

処遇改善加算…約920万円
特定加算…約300万円
ベースアップ加算…約86万円

合計…**③約1,300万円　/　年**

芦別慈恵園ユニット型の処遇改善加算

基本報酬
①1億1000万円

加算
②1,000万円

処遇改善合計
③1,300万円

加算+処遇改善
約2,300万円
収入が上乗せ

サービス提供事業所のこれから・・・

加算を算定し
どれだけ上乗せできるか

基本のサービス費だけでは
経営が成り立たたない

自分たちにできることってなんだろう？

結局…やれる事ってこれしかない

長期・短期
・空床は１日でも早く埋めること
・入院しない身体づくり
通所・訪問
・一人でも多くの方に利用して頂くこと

シンプルに考えよう

慈恵園の原点を大切に…ブレず迷わず実践

私たちにできること…

慈恵園のエビデンスである
７つの柱を大切にすること

それが、ケアの質を高め
お客様の元気、えがおに繋がる

一日一日の積み上げが経営に繋がっていく

ケアだけでなく経営も多職種共同で考える時代

従来型　11,700円/日
ユニット型　13,600円/日

かざぐるま 14,000円/日

ショート 12,600円/日

デイサービス 10,200円/日
なごやかサロン 4,600円/日

もみじの家 12,500円/日

訪問介護 5,200/日
相 当 型　6,400円/日

ケアだけでなく経営も多職種共同で考える時代

空きベッド=空床利用

従来型　11,700円/日
ユニット型　13,600円/日

かざぐるま 14,000円/日

ショート 12,600円/日

利用キャンセル=スポット利用

デイサービス 10,200円/日
なごやかサロン 4,600円/日

もみじの家 12,500円/日

訪問介護 5,200/日
相 当 型　6,400円/日

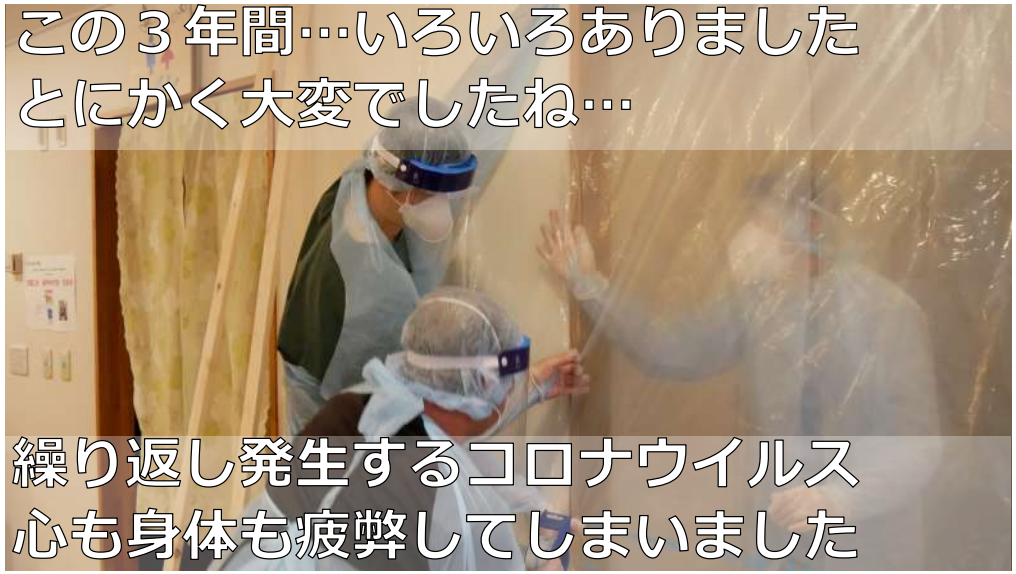
ケアも経営も多職種共同で考える時代

北海道 働きやすい介護の職場 認証制度

令和6年3月15日
認証

認証期間：令和9年3月14日まで

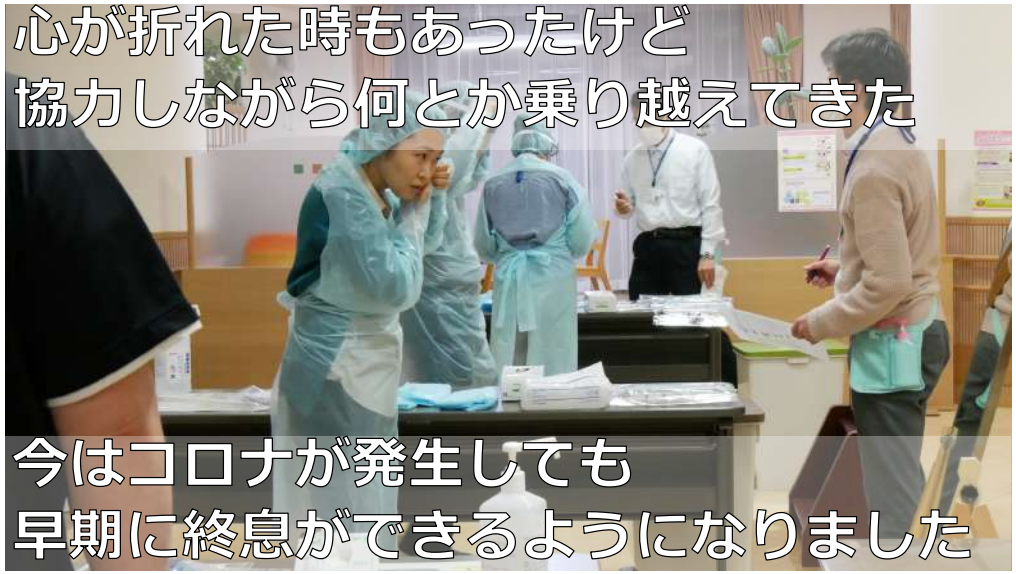
全職種で発信しましょう！


この３年間…いろいろありました
とにかく大変でしたね…
繰り返し発生するコロナウイルス
心も身体も疲弊してしまいました

行事が思うように開催できず
お客様の笑顔をみる機会が減少

福祉施設職員のモチベーションは
お客様の笑顔ですから
やりがいを見いだせず苦悩の
日々を送った職員は多かったはず…

４月から個別レクの再開が決まり
外出ができるようになります
時間はかかりましたが、
少しずつ日常が戻ってきました



芦別慈恵園の未来に続くために

困難を乗り越える力のついた
「チーム慈恵園」がある

令和６年度の経営実践テーマ

①空き部屋を作らない
②一人でも多くの方に利用頂く

継続は力なり